

8/1 総合文化会館
ルールを守って使おう



意見を発表する生徒の代表

市内の中学生や教員、保護者がスマートフォンや携帯電話の適正な使用法を考える「TAKAHASHI スマホサミット」(市教育委員会主催)が開かれました。

市内の7中学校から生徒会役員が参加し、「スマートフォン利用のアンケートを取って分析し、長時間利用のデメリットを考えた」などと発言。保護者や教員も意見を交わしました。

8/1-2 夫婦岩駐車場
10万本のヒマワリが迎える



多彩なイベントで盛り上がる

約10万本のヒマワリが来場者を迎える「ひまわり祭り」(高梁夫婦岩の会主催)が、会発足10周年記念として盛大に開催されました。

1日夜は、ビアガーデンと打ち上げ花火で高原の涼しさを満喫しました。2日は、市内の団体が備中神楽など伝統芸能を披露。シンガーソングライターの二階堂和美さんのライブ、住宅正人さんによるちくわ笛演奏の特別ステージもありました。

7/12 なりわ運動公園
野球少年、成羽に集う



選手宣誓をする成羽太陽BBCの江草偉也主将

30年以上の歴史を誇る「学童軟式野球成羽大会」(成羽太陽ベースボールクラブ主催)が開催されました。

県内14チームと広島県から1チームが参加。森田盾、備中整形旗、高梁ライオンズクラブ杯を争いました。選手は練習で鍛えた成果を発揮。チームが一致団結してプレーするとともに、各チームとの親睦も深めました。

7/10 市役所
薬草の産地化を目指して



左から近藤市長、楠田理事長、折戸執行役員、原社長

漢方薬などの原料となるカンゾウの栽培実証実験を市内で実施するための協定を結びました。

近藤隆則市長、NPO法人ワークネット岡山の楠田教夫理事長、三菱樹脂の折戸文夫執行役員、グリーンイノベーションの原泉社長が出席し、調印。中国からの輸入に依存しているカンゾウの産地化を進め、農業振興と700㌔を超える耕作放棄地の解消を目指します。

7/25 成羽川河川敷
2千発の打ち上げ花火と10景の仕掛け花火が夜空と川面を染める

約300年の伝統を誇る「備中名物成羽愛宕大花火」(同実行委員会主催)が開催され、約3万5千人が夜空を彩る打ち上げ花火や仕掛け花火に魅了されました。



8/1 有漢総合グラウンド
暑い夏を有漢で涼む



目の前に大輪の花が咲く

「有漢町納涼ふるさと祭」(同実行委員会主催)が開催され、大勢の家族連れらで賑わいました。

会場では、焼いたヤマメやトウモロコシなどを販売する夜市をはじめ、地元団体などによるステージショーで盛り上がりしました。

来場者は、特設やぐらを中心に松山踊りとやとさ踊りを踊り、約700発の花火が祭りを盛大に締めくくりました。

7/11 総合文化会館
美しく澄んだハーモニ



新作童謡を歌うコールフローレスとぐらんば

童謡のまち高梁を市内外に発信する「第30回童謡まつりイン高梁」(市童謡のまちづくり推進委員会主催)が開催され、市内の22団体が日頃の練習成果を発表しました。

昨年の市文学選奨童謡作詞部門入選の秋山智子さんの詩「ありがとうゾウさん」に曲をつけた新作童謡を女声合唱団「コールフローレス」と男声合唱団「ぐらんば」が初披露しました。